

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“ 「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”

「国鉄改革の裏側」ダイジェスト版 第9回

あの元国鉄労働課長が明かす「国鉄改革の裏側第5弾」が【「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”という本になった。本紙は筆者（宗形明氏）の了解を得て、『JR東日本革マル問題の現状』をダイジェスト版として紹介することとした。

会社の微妙な姿勢変化に戸惑い、苛立つ東労組執行部

本部派対反本部派の組合内部紛争がすでに5年を越す「長期混迷」状況の中で、結成20周年の記念大会を迎えることになる東労組本部執行部は、清野新社長体制の変化を警戒、疑心暗鬼による先行き不安感から、会社のちょっとした言葉の端々に神経過敏に反応し、戸惑い、苛立つことが多くなったように思われる。

JR東労組第31回定期中央委員会は、このところ恒例のようになった「良くする会」側に対する“制裁処分”オンパレードの感があった。この第31回定期中央委員会の委員長挨拶の中で、石川尚吾委員長次のように奇妙、意味ありげなことを述べた。【労使関係について、高崎、水戸、旧東京地本管内6地本で、先の大会で清野社長に訴えたエールと違うボールが返ってきている。特徴的に言えば「指令」を（宗形注、会社側が）外してしまった。本部の指令を。本部・本社に労使関係はあるのか、各地本に労使関係はあるのか、と問いたい。すぐれてそれは会社の責任である。これだけ私は清野さんのためにやっているのに、後ろから弾を撃つのであれば、労働組合として弾を込める用意はある。しかし、そのような過激派にはなりたくない。あえて弾を撃ち続けるのであれば、受けて立たざるをえないかな?。「かな?」ですよ。もし報告する人がいたら、その点をよろしく報告して下さい。本気です。もう担当重役その他には直接言ってあります。あとは社長です。一步も引かないと考えている。その意味で、20年の「功と罪」を検証する年になる。】【本部は3月3日、中央執行委員一斉に、闘いの過程で志し半ばで倒れた皆様（宗形注、内ゲバ事件での死亡者たち）のお墓に報告に詣る。何者かによって襲撃され、尊い命を失ってしまった。私達は、その上に今日があるということを思い返さなければならない。】

また、総括答弁に立った千葉勝也書記長も、次のように会社への警戒感を露わにし、暗に恫喝的な姿勢を示した。【労使関係について。本人希望を無視した強制転勤、掲示物の強制撤去、ローカルルールの破棄、ダイ改の他労組のみの提案など、すべて一方的に会社からそのような事態が引き起こされており、その結果混乱を招いている。明らかに20年にわたって創りあげてきた労使関係とは違った事象が目の前に現れている。明らかに傲慢な会社側の姿勢が現れている。本部は重大な決意を持って、この労使協力関係を壊そうとする姿勢に対して闘っていきたい。同時に我々は労働組合として、理性を持って職場体制を確立していかなければならない。】

JR革マル派完全支配下の「東労組」は、自らが種をまいた混乱收拾の目途がつかず、展望を見出せないまま“迷走”を開始したように見える。

【「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”（高木書房）P.109～P.111】